

財 政 運 営 適 正 化 計 画 調 査 表

調査表 1	…	財政運営適正化計画（数値）
調査表 2	…	財政運営適正化計画の概要（考え方等）
調査表 3	…	歳入（見込）額調
調査表 4	…	歳出（見込）額調
調査表 5	…	実質公債費比率（見込）調
調査表 6	…	将来負担比率（見込）調

平成 31 年 3 月

市町村名（久米南町）

1 財政運営適正化計画

調査表 1

財政状況の推移 (単位:百万円、%)															
年度	歳入	歳出	(実質収支比率) 実質収支	標準財政規模	実質公債費比率		将来負担比率	経常収支比率		財政力指数 3年平均	地方債 現在高	基金現在高			
					単年度	3年平均		うち 人件費	うち 公債費			うち 減債	うち 財政調整		
H27	3,739	3,637	(3.2) 85	2,660	11.4	10.2	86.3	92.6%	22.0%	19.0%	0.19	4,365	1,862	146	845
H28	3,856	3,710	(5.7) 146	2,566	15.3	11.7	69.7	93.2%	21.6%	19.6%	0.2	4,049	1,826	146	938
H29	4,008	3,845	(6.1) 163	2,678	15.1	13.9	53.9	90.5%	21.4%	18.8%	0.21	3,803	1,982	146	748
H30	4,176	4,068	(4.2) 108	2,571	15.5	15.3	30.8	93.2%	22.1%	19.5%	0.23	3,674	2,185	146	648
H31	3,598	3,414	(7.1) 184	2,574	15.5	15.4	17.3	92.1%	22.2%	19.2%	0.23	3,352	2,035	146	548
H32	4,124	3,940	(7.2) 184	2,561	14.2	15.1	21.8	91.2%	22.5%	17.7%	0.23	3,418	1,905	146	500
H33	4,414	4,235	(7.0) 179	2,560	11.9	13.9	28.4	90.0%	22.8%	15.5%	0.23	3,775	2,025	146	500
H34	3,623	3,463	(6.3) 160	2,550	12.8	13.0	12.1	88.8%	23.2%	15.6%	0.23	3,636	2,145	146	500
H35	3,579	3,447	(5.2) 132	2,530	11.2	12.0	3.8	87.4%	23.6%	13.7%	0.23	3,563	2,200	146	500

2 財政運営適正化計画の概要

調査表 2

行財政運営の簡素化及び効率化の基本方針	厳しい財政状況のなか、限られた財源で多様化、複雑化する行政需要に的確に対応してゆくため、行政の守備範囲を再点検し、経費負担の適正化に努めるとともに、時代に対応した施策の選択や事務事業の整理統合等による行政効率の向上を図る。																																												
項目	現状と問題点	財政運営の適正化を図るための措置及び目標																																											
歳入確保対策	課税客体捕捉の徹底と徴収の強化 (地方税徴収率の向上)	町税については、平成29年度以降、太陽光発電施設の稼働開始による固定資産税が増加している。H29徴収率は95.0%と前年度から1.1ポイント増加している。その他の税金については、人口減、高齢化の影響により減少傾向にある。	増収見込額 百万円																																										
			措置内容	税務住民課の推計による。固定資産税…… H29より太陽光発電施設の稼働により大幅増																																									
	使用料・手数料等受益者負担の適正化	使用料については、保育所、公営住宅、公の施設使用料が主なもの。手数料のうち、法廷受託事務は省令に示された標準額を設定している。自治事務については隣接町との均衡を考慮して設定している。	増収見込額 百万円																																										
			措置内容	保育使用料については、所得階層の捕捉が困難なこと、公営住宅使用料は、近年整備した住宅以外は老朽化の著しいものが大半を占めることから平成29年度以降も現行で推移すると予想される。その他の使用料も均衡を考慮し据え置くこととし、手数料も同様とする。																																									
歳入確保対策	財産管理の適正化と財産運用収入の確保 (売却可能資産の処分)	普通財産の貸付では、土地、建物を貸し付けているが、建物については老朽化しており高額の使用料の設定は出来ない。土地も利便性の良い土地が少なく借手も少ない。	増収見込額 百万円																																										
			措置内容	売払の出来る財産については、処分を検討するが、計画期間内は土地、建物の貸付収入及び基金利子を見込む。なお、今後、民間活力を利用した町有地への賃貸住宅を推進していく予定ではあるが、現時点では見込んでいない。																																									
その他の歳入確保	基金については、銀行等の定期預金で管理していたが、低金利が続き、運用益が激減している。	増収見込額 1百万円																																											
		措置内容	平成30年度から有価証券購入等による基金の運用に取り組み、運用益による歳入増加を図っている。																																										
職員定数の見直し状況	事務事業の整理、組織の合理化、適正配置等に努め、少数精鋭を基本に臨時職員及び嘱託職員等を効果的に活用し、職員数の削減を図り、人件費の抑制に取り組む。	職員数の現況及び将来見通し (単位:人)																																											
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>83</td> <td>82</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td style="border: none;"></td> <td style="background-color: #e0f7fa;">△ 1</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">△ 1</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> </tr> </tbody> </table>									H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	職員数	83	82	81	81	81	81	81	81	増減		△ 1	△ 1	0	0	0	0	0									
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																					
職員数	83	82	81	81	81	81	81	81																																					
増減		△ 1	△ 1	0	0	0	0	0																																					
歳出抑制策	H29年度末退職者1名に対してH30年度は0名補充、H30年度末退職者1名に対してH31年度は1名補充予定とし、以降定員管理計画等に基づき純減を図っている。今後、事務移譲等により計画上の人員で事務事業の遂行が可能かどうかの検討は必要である。公債費に関しては、現在高は順調に減少しているものの、H27からH31まで償還のピークを迎えるため、義務的経費の増による財政の硬直化は免れない。起債については十分検討の上、必要最小限の借入を行っていく。	人件費総額の抑制計画 (単位:百万円)																																											
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>602</td> <td>609.677</td> <td>620</td> <td>618.243</td> <td>622.571</td> <td>626.929</td> <td>631.318</td> <td>635.737</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td style="border: none;"></td> <td style="background-color: #e0f7fa;">7</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">10</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">△ 2</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">4</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">4</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">4</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">4</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> </tr> </tbody> </table>									H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計画額	602	609.677	620	618.243	622.571	626.929	631.318	635.737	増減		7	10	△ 2	4	4	4	4	うち行革分			0	0	0	0	0	0
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																					
計画額	602	609.677	620	618.243	622.571	626.929	631.318	635.737																																					
増減		7	10	△ 2	4	4	4	4																																					
うち行革分			0	0	0	0	0	0																																					
		公債費の抑制 (単位:百万円)																																											
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>514.647</td> <td>517.795</td> <td>512.2</td> <td>500.1</td> <td>460.1</td> <td>400.1</td> <td>400.1</td> <td>350.1</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td style="border: none;"></td> <td style="background-color: #e0f7fa;">3</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">△ 6</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">△ 12</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">△ 40</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">△ 60</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">△ 50</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> <td style="background-color: #e0f7fa;">0</td> </tr> </tbody> </table>									H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計画額	514.647	517.795	512.2	500.1	460.1	400.1	400.1	350.1	増減		3	△ 6	△ 12	△ 40	△ 60	0	△ 50	うち行革分			0	0	0	0	0	0
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																					
計画額	514.647	517.795	512.2	500.1	460.1	400.1	400.1	350.1																																					
増減		3	△ 6	△ 12	△ 40	△ 60	0	△ 50																																					
うち行革分			0	0	0	0	0	0																																					
措置内容																																													

項目		現状と問題点	財政運営の適正化を図るための措置及び目標																																																																														
歳出抑制策	消費的経費の節減	<p>物件費に関しては、極力抑制しているが情報化への対応、デマンド交通の導入、また、多様化する住民ニーズへの対応などで増加傾向にある。</p> <p>物件費の抑制には、事務事業の見直しのほか、公共施設の統廃合も視野に入れ住民の理解を求めつつ行わなければならない。</p> <p>維持補修費に関しても、最小限にとどめているが、施設の老朽化等が進めば歳出増は避けられない。</p>	<p>物件費の抑制計画 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>601.792</td> <td>523.384</td> <td>600</td> <td>538.141</td> <td>545.675</td> <td>553.314</td> <td>561.06</td> <td>568.915</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>△ 78</td> <td>77</td> <td>△ 62</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>維持補修費の抑制計画 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>19.142</td> <td>21.459</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>								H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計画額	601.792	523.384	600	538.141	545.675	553.314	561.06	568.915	増減		△ 78	77	△ 62	8	8	8	8	うち行革分			0	0	0	0	0	0		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計画額	19.142	21.459	25	30	30	30	30	30	増減		2	4	5	0	0	0	0	うち行革分			0	0	0	0	0	0
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																																																								
	計画額	601.792	523.384	600	538.141	545.675	553.314	561.06	568.915																																																																								
	増減		△ 78	77	△ 62	8	8	8	8																																																																								
うち行革分			0	0	0	0	0	0																																																																									
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																																																									
計画額	19.142	21.459	25	30	30	30	30	30																																																																									
増減		2	4	5	0	0	0	0																																																																									
うち行革分			0	0	0	0	0	0																																																																									
		<p>人件費に関しては、定員管理計画に基づき定年退職者及び新規採用者の差額を削減額とする。</p> <p>公債費は、計画期間中の余裕一般財源の範囲内で投資的経費の事業計画を行っているが、普通交付税の基準財政需要額に算入される割合の高い地方債を優先的に発行するものとして計画する。</p>																																																																															
	投資的経費の抑制 (地方債の発行抑制)	<p>今後の建設事業については、多くが改築等の老朽化対策となることから、公共施設等総合管理計画を基本方針とし、計画的な施工と財源の確保を行う必要がある。</p> <p>直近ではH29～30には学校給食センターの立替え、また、H30～32にかけては庁舎の耐震改修または建替えを検討している。</p>	<p>地方債発行抑制 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>156.382</td> <td>235.77</td> <td>358.044</td> <td>148</td> <td>507.844</td> <td>712.344</td> <td>212.344</td> <td>212.344</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>79</td> <td>122</td> <td>△ 210</td> <td>360</td> <td>205</td> <td>△ 500</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>								H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計画額	156.382	235.77	358.044	148	507.844	712.344	212.344	212.344	増減		79	122	△ 210	360	205	△ 500	0																																													
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																																																									
計画額	156.382	235.77	358.044	148	507.844	712.344	212.344	212.344																																																																									
増減		79	122	△ 210	360	205	△ 500	0																																																																									
			<p>措置内容</p> <p>平成28年度公共施設等総合管理計画策定</p>																																																																														
	繰出金の適正合理化 (基準外繰出の解消等)	<p>公営企業会計では、簡易水道、公共下水道の特別会計の繰出を行っているが、下水道に関してはH24年度で整備が完了した。H17年度に供用開始を行っており加入率も上がっているが使用料で維持費をまかなうのが限界の状況のため、公債費の償還が全額繰出金となっている。他の会計では、介護保険等の社会保障に係る会計の繰出額が見込まれる。</p>	<p>基準外繰出の解消等 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td></td> <td>12.457</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td></td> <td>△ 4</td> <td>△ 3</td> <td>△ 1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>								H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計画額		12.457	8	5	4	5	5	5	増減			△ 4	△ 3	△ 1	1	0	0																																													
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																																																									
計画額		12.457	8	5	4	5	5	5																																																																									
増減			△ 4	△ 3	△ 1	1	0	0																																																																									
			<p>措置内容</p> <p>公営企業会計は、建設改良に伴う起債償還額を見込んで計画。</p>																																																																														
	事務事業の見直し状況	<p>事務事業評価に基づき事業の廃止、見直し、中止を検討し、予算に反映させている。</p>	<p>削減見込額 百万円</p>																																																																														
			<p>措置内容</p>																																																																														
	その他の歳出合理化		<p>削減見込額 百万円</p>																																																																														
			<p>措置内容</p>																																																																														
その他	政策評価の導入状況	<p>事務事業評価を実施。</p>																																																																															
	行政改革・財政状況に関する情報公開の状況	<p>行政改革・財政状況について町ホームページへ掲載。</p>																																																																															

3 歳入(見込)額調

調査表 3

(単位:千円, %)

区 分	平成27年度決算		平成28年度決算		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度	
	決算額	伸率	決算額	伸率	決算額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率
1 地方税	421,731		427,207	1.3%	532,982	24.8%	530,000	△ 0.6%	513,867	△ 3.0%	513,865	△ 0.0%	501,207	△ 2.5%	489,711	△ 2.3%	484,941	△ 1.0%
市町村民税	174,822		173,046	△ 1.0%	180,467	4.3%	167,000	△ 7.5%	168,636	1.0%	167,204	△ 0.8%	165,816	△ 0.8%	164,470	△ 0.8%	163,800	△ 0.4%
固定資産税	204,488		208,433	1.9%	307,287	47.4%	310,000	0.9%	299,941	△ 3.2%	301,341	0.5%	290,041	△ 3.7%	279,941	△ 3.5%	276,241	△ 1.3%
その他	42,421		45,728	7.8%	45,228	△ 1.1%	53,000	17.2%	45,290	△ 14.5%	45,320	0.1%	45,350	0.1%	45,300	△ 0.1%	44,900	△ 0.9%
2 地方譲与税	68,087		67,426	△ 1.0%	67,193	△ 0.3%	66,000	△ 1.8%	60,000	△ 9.1%	60,000		60,000		60,000		60,000	
3 交付金	110,775		99,023	△ 10.6%	106,902	8.0%	102,000	△ 4.6%	97,000	△ 4.9%	97,000		97,000		97,000		97,000	
4 地方特例交付金	1,237		1,173	△ 5.2%	1,393	18.8%	2,000	43.6%	1,000	△ 50.0%	1,000		1,000		1,000		1,000	
5 地方交付税	2,090,985		2,022,499	△ 3.3%	2,029,225	0.3%	1,919,027	△ 5.4%	1,911,615	△ 0.4%	1,898,330	△ 0.7%	1,897,530	△ 0.0%	1,887,844	△ 0.5%	1,867,565	△ 1.1%
普通交付税	1,954,893		1,872,059	△ 4.2%	1,884,347	0.7%	1,779,027	△ 5.6%	1,781,615	0.1%	1,768,330	△ 0.7%	1,767,530	△ 0.0%	1,757,844	△ 0.5%	1,737,565	△ 1.2%
特別交付税	136,092		150,440	10.5%	144,878	△ 3.7%	140,000	△ 3.4%	130,000	△ 7.1%	130,000		130,000		130,000		130,000	
6 分・負担金、寄附金	41,853		36,469	△ 12.9%	43,025	18.0%	70,000	62.7%	53,600	△ 23.4%	53,600		53,600		53,600		53,600	
7 使用料・手数料	55,095		54,473	△ 1.1%	52,499	△ 3.6%	60,000	14.3%	51,750	△ 13.8%	51,750		51,750		51,750		51,750	
8 国・県支出金	493,134		563,842	14.3%	448,043	△ 20.5%	610,000	36.1%	536,775	△ 12.0%	489,475	△ 8.8%	489,475		489,475		489,475	
経常	292,107		293,135	0.4%	295,221	0.7%	230,000	△ 22.1%	300,000	30.4%	260,000	△ 13.3%	260,000		260,000		260,000	
臨時	201,027		270,707	34.7%	152,822	△ 43.5%	380,000	148.7%	236,775	△ 37.7%	229,475	△ 3.1%	229,475		229,475		289,475	26.1%
9 財産収入	2,428		2,034	△ 16.2%	2,479	21.9%	1,600	△ 35.5%	1,600		1,600		1,600		1,600		1,600	
10 繰入金	1,739		229,636	13,105.1%	282,803	23.2%	136,000	△ 51.9%		△ 100.0%								
11 繰越金	125,975		102,518	△ 18.6%	145,703	42.1%	160,921	10.4%	107,392	△ 33.3%	184,597	71.9%	183,934	△ 0.4%	178,880	△ 2.7%	160,069	△ 10.5%
12 地方債	209,403		156,382	△ 25.3%	235,770	50.8%	358,044	51.9%	147,844	△ 58.7%	507,844	243.5%	712,344	40.3%	212,344	△ 70.2%	212,344	
うち臨時財政対策債	131,703		97,482	△ 26.0%	99,070	1.6%	97,844	△ 1.2%	97,844		97,844		97,844		97,844		97,844	
うち合併特例債																		
13 その他	116,985		93,321	△ 20.2%	59,651	△ 36.1%	160,000	168.2%	116,000	△ 27.5%	264,800	128.3%	364,200	37.5%	100,000	△ 72.5%	100,000	
歳入合計	3,739,427		3,856,003	3.1%	4,007,668	3.9%	4,175,592	4.2%	3,598,443	△ 13.8%	4,123,861	14.6%	4,413,640	7.0%	3,623,204	△ 17.9%	3,579,344	△ 1.2%
うち経常一般財源	2,559,379		2,469,860	△ 3.5%	2,596,411		2,479,027		2,453,782		2,440,495		2,427,037		2,405,855		2,380,806	

4 歳出(見込)額調

調査表4

(単位:千円,%)

区 分	平成27年度決算			平成28年度決算			平成29年度			平成30年度			平成31年度			平成32年度			平成33年度			平成34年度			平成35年度		
	決算額	伸率	経常収支比率	決算額	伸率	経常収支比率	決算額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率
1 人件費	636,147		22.0%	602,292	△ 5.3%	21.6%	609,677	1.2%	21.4%	620,000	1.7%	22.1%	618,243	△ 0.3%	22.2%	622,571	0.7%	22.5%	626,929	0.7%	22.8%	631,318	0.7%	23.2%	635,737	0.7%	23.6%
うち 職員給	391,797		—	386,130	△ 1.4%	—	392,456	1.6%	—	400,000	1.9%	—	400,000		—	400,000		—	400,000		—	400,000		—	400,000		—
うち 退職手当	67,011		—	57,268		—	51,369		—	60,000		—	60,000		—	60,000		—	60,000		—	60,000		—	60,000		—
2 扶助費	245,435		3.9%	276,189	12.5%	4.4%	263,575	△ 4.6%	4.3%	240,000	△ 8.9%	3.8%	288,382	20.2%	5.8%	301,648	4.6%	6.3%	315,524	4.6%	6.9%	330,038	4.6%	6.8%	345,220	4.6%	7.4%
3 公債費	522,327		19.0%	514,647	△ 1.5%	19.6%	517,795	0.6%	18.8%	512,200	△ 1.1%	19.5%	500,100	△ 2.4%	19.2%	460,100	△ 8.0%	17.7%	400,100	△ 13.0%	15.5%	400,100		15.6%	350,100	△ 12.5%	13.7%
元利償還金	522,215		—	514,524	△ 1.5%	—	517,628	0.6%	—	512,000	△ 1.1%	—	500,000	△ 2.3%	—	460,000	△ 8.0%	—	400,000	△ 13.0%	—	400,000		—	350,000	△ 12.5%	—
一時借入金利子	112		—	123	9.8%	—	167		—	200		—	100		—	100		—	100		—	100		—	100		—
1~3 義務の経費計	1,403,909		44.9%	1,393,128	△ 0.8%	45.6%	1,391,047	△ 0.1%	44.5%	1,372,200	△ 1.4%	45.4%	1,406,725	2.5%	47.2%	1,384,319	△ 1.6%	46.6%	1,342,553	△ 3.0%	45.2%	1,361,456	1.4%	45.5%	1,331,057	△ 2.2%	44.7%
4 物件費	541,056		13.7%	601,792	11.2%	13.8%	523,384	△ 13.0%	14.1%	600,000	14.6%	15.1%	538,141	△ 10.3%	14.8%	545,675	1.4%	15.2%	553,314	1.4%	15.6%	561,060	1.4%	15.2%	568,915	1.4%	14.9%
5 維持補修費	26,640		1.0%	19,142	△ 28.1%	0.7%	21,459	12.1%	0.7%	25,000	16.5%	0.9%	30,000	20.0%	1.1%	30,000		1.1%	30,000		1.1%	30,000		1.1%	30,000		1.1%
6 補助費等	693,036		11.9%	647,548	△ 6.6%	12.1%	580,457	△ 10.4%	10.9%	590,586	1.7%	10.6%	560,000	△ 5.2%	9.5%	560,000		9.6%	560,000		9.6%	560,000		8.9%	550,000	△ 1.8%	8.6%
4~6 消費の経費計	1,260,732		26.6%	1,268,482	0.6%	26.6%	1,125,300	△ 11.3%	25.7%	1,215,586	8.0%	26.6%	1,128,141	△ 7.2%	25.4%	1,135,675	0.7%	25.9%	1,143,314	0.7%	26.3%	1,151,060	0.7%	25.2%	1,148,915	△ 0.2%	24.6%
7 積立金	157,220		—	181,990	15.8%	—	423,059	132.5%	—	182,000	△ 57.0%	—	100,000	△ 45.1%	—	120,000	20.0%	—	170,000	41.7%	—	150,000	△ 11.8%	—	170,000	13.3%	—
8 投資出資貸付金	5,549		—	5,004	△ 9.8%	—	4,345	△ 13.2%	—	5,000	15.1%	—	5,000		—	5,000		—	5,000		—	5,000		—	5,000		—
9 繰出金	618,233		21.1%	602,825	△ 2.5%	21.0%	619,135	2.7%	20.3%	609,414	△ 1.6%	21.1%	580,572	△ 4.7%	19.4%	560,951	△ 3.4%	18.8%	552,011	△ 1.6%	18.5%	537,937	△ 2.5%	18.1%	534,000	△ 0.7%	18.1%
10 普通建設事業費	190,844		—	244,178	27.9%	—	254,765	4.3%	—	410,000	60.9%	—	144,668	△ 64.7%	—	685,242	373.7%	—	973,142	42.0%	—	208,942	△ 78.5%	—	208,942		—
補 助	39,240		—	87,338	122.6%	—	148,814	70.4%	—	260,000	74.7%	—	4,668	△ 98.2%	—	3,942	△ 15.6%	—	3,942		—	3,942		—	3,942		—
単 独	151,604		—	156,840	3.5%	—	105,951	△ 32.4%	—	150,000	41.6%	—	140,000	△ 6.7%	—	681,300	386.6%	—	969,200	42.3%	—	205,000	△ 78.8%	—	205,000		—
11 災害復旧事業費	422		—	14,693	3,381.8%	—	27,159	84.8%	—	274,000	908.9%	—	48,740	△ 82.2%	—	48,740		—	48,740		—	48,740		—	48,740		—
補 助			—	9,730		—	17,368	78.5%	—	174,000	901.8%	—	45,000	△ 74.1%	—	45,000		—	45,000		—	45,000		—	45,000		—
単 独	422		—	4,963	1,076.1%	—	9,791	97.3%	—	100,000	921.3%	—	3,740	△ 96.3%	—	3,740		—	3,740		—	3,740		—	3,740		—
10~11 投資の経費計	191,266		—	258,871	35.3%	—	281,924	8.9%	—	684,000	142.6%	—	193,408	△ 71.7%	—	733,982	279.5%	—	1,021,882	39.2%	—	257,682	△ 74.8%	—	257,682		—
歳出合計	3,636,909		92.6%	3,710,300	2.0%	93.2%	3,844,810	3.6%	90.5%	4,068,200	5.8%	93.2%	3,413,846	△ 16.1%	92.1%	3,939,927	15.4%	91.2%	4,234,760	7.5%	90.0%	3,463,135	△ 18.2%	88.8%	3,446,654	△ 0.5%	87.4%
うち 経常経費 充当一般財源	2,493,710		—	2,393,621	△ 4.0%	—	2,440,585	2.0%	—	2,401,200	△ 1.6%	—	2,349,438	△ 2.2%	—	2,314,945	△ 1.5%	—	2,271,878	△ 1.9%	—	2,223,453	△ 2.1%	—	2,166,972	△ 2.5%	—

5 実質公債費比率(見込)調

調査表 5

(単位:千円, %)

区 分	平成27年度決算		平成28年度決算		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		
		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率	
普通交付税	1,954,893	—	1,872,059	△ 4.2%	1,884,347	0.7%	1,779,027	△ 5.6%	1,781,615	0.1%	1,768,330	△ 0.7%	1,767,530	△ 0.0%	1,757,844	△ 0.5%	1,737,565	△ 1.2%	
標準税収入額等	573,593	—	596,297	4.0%	694,491	16.5%	694,491		694,491		694,491		694,491		694,491		694,491		
臨時財政対策債発行可能額 B	131,703	—	97,482	△ 26.0%	99,070	1.6%	97,844	△ 1.2%	97,844		97,844		97,844		97,844		97,844		
計(標準財政規模) A	2,660,189	—	2,565,838	△ 3.5%	2,677,908	4.4%	2,571,362	△ 4.0%	2,573,950	0.1%	2,560,665	△ 0.5%	2,559,865	△ 0.0%	2,550,179	△ 0.4%	2,529,900	△ 0.8%	
元利償還金 C	522,215	—	514,524	△ 1.5%	517,628	0.6%	512,000	△ 1.1%	500,000	△ 2.3%	460,000	△ 8.0%	400,000	△ 13.0%	400,000		350,000	△ 12.5%	
繰上償還額 D	—	—	—		—		—		—		—		—		—		—		
準元利償還金(①+②+③+④+⑤) E	293,943	—	293,707	△ 0.1%	287,726	△ 2.0%	284,632	△ 1.1%	284,632		284,632		284,632		284,632		284,632		
内訳	満期一括償還地方債に係る年度割相当額 ①	—	—		—		—		—		—		—		—		—		
	公営企業債元利償還金財源充当繰出金 ②	274,480	—	272,971	△ 0.5%	263,128	△ 3.6%	263,128		263,128		263,128		263,128		263,128		263,128	
	組合等の起債の元利償還金に充当した負担金等 ③	17,195	—	18,596	8.1%	22,718	22.2%	19,691	△ 13.3%	19,691		19,691		19,691		19,691		19,691	
	公債費に準ずる債務負担行為に基づく支出額 ④	2,156	—	2,017	△ 6.4%	1,713	△ 15.1%	1,713		1,713		1,713		1,713		1,713		1,713	
	一時借入金利子 ⑤	112	—	123		167	35.8%	100	△ 40.1%	100		100		100		100		100	
元利償還金充当特定財源 F	10,948	—	10,339	△ 5.6%	9,758	△ 5.6%	9,758		9,758		9,758		9,758		9,758		9,758		
準元利償還金充当特定財源 G	—	—	—		—		—		—		—		—		—		—		
基準財政需要額算入額H(ア+イ+ウ)	564,590	—	478,170	△ 15.3%	459,124	△ 4.0%	457,480	△ 0.4%	443,180	△ 3.1%	430,722	△ 2.8%	419,889	△ 2.5%	399,476	△ 4.9%	382,221	△ 4.3%	
内訳	公債費分ア	382,534	—	382,139	△ 0.1%	367,570	△ 3.8%	367,413	△ 0.0%	356,881	△ 2.9%	352,154	△ 1.3%	345,597	△ 1.9%	329,182	△ 4.7%	316,423	△ 3.9%
	事業費補正分イ	163,073	—	77,017	△ 52.8%	72,499	△ 5.9%	71,012	△ 2.1%	67,244	△ 5.3%	59,513	△ 11.5%	55,237	△ 7.2%	51,239	△ 7.2%	46,743	△ 8.8%
	密度補正分ウ	18,983	—	19,014	0.2%	19,055	0.2%	19,055		19,055		19,055		19,055		19,055		19,055	
(C-D+E)-(F+G+H) I	240,620	—	319,722	32.9%	336,472	5.2%	329,394	△ 2.1%	331,694	0.7%	304,152	△ 8.3%	254,985	△ 16.2%	275,398	8.0%	242,653	△ 11.9%	
A-H J	2,095,599	—	2,087,668	△ 0.4%	2,218,784	6.3%	2,113,882	△ 4.7%	2,130,770	0.8%	2,129,943	△ 0.0%	2,139,976	0.5%	2,150,703	0.5%	2,147,679	△ 0.1%	
実質公債費比率(単年) I/J K	11.4	—	15.3	34.2%	15.1	△ 1.3%	15.5	2.6%	15.5		14.2	△ 8.4%	11.9	△ 16.2%	12.8	7.6%	11.2	△ 12.5%	
Kの3ヶ年平均	10.2	—	11.7	1.5	13.9	0.2	15.3	0.1	15.4	0.0	15.1	△ 0.0	13.9	△ 0.1	13.0	△ 0.1	12.0	△ 0.1	

6 将来負担比率(見込)調

調査表6

(単位: 千円, %)

区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
地方債の現在高(一般会計等) a	4,365,268	4,049,422	3,802,879	3,674,235	3,352,247	3,417,627	3,774,955	3,635,534	3,563,441
債務負担行為に基づく支出予定額 b	26,723	21,373	16,798	16,798	16,798	16,798	16,798	16,798	16,798
公営企業債等繰入見込額 c	2,872,354	2,627,102	2,441,132	2,216,829	2,006,285	1,807,232	1,613,333	1,424,759	1,274,989
一部事務組合等負担等見込額 d	234,341	225,965	208,976	208,976	208,976	208,976	208,976	208,976	208,976
退職手当負担見込額 e	525,444	537,130	572,232	572,232	572,232	572,232	572,232	572,232	572,232
設立法人の負債額等負担見込額 f	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地開発公社 g									
第三セクター等 h									
連結実質赤字額 i									
組合等連結実質赤字額負担見込額 j									
充当可能基金 k	1,862,241	1,826,211	1,981,570	2,185,098	2,035,098	1,905,098	2,025,098	2,145,098	2,200,000
充当可能特定歳入 l	77,196	64,844	52,682	52,682	52,682	52,682	52,682	52,682	52,682
都市計画税 m									
基準財政需要額算入見込額 n	4,274,176	4,113,645	3,811,277	3,800,000	3,700,000	3,600,000	3,500,000	3,400,000	3,300,000
将来負担額 A o	8,024,130	7,460,992	7,042,017	6,689,070	6,156,538	6,022,865	6,186,294	5,858,299	5,636,436
充当可能財源等 B p	6,213,613	6,004,700	5,845,529	6,037,780	5,787,780	5,557,780	5,577,780	5,597,780	5,552,682
標準財政規模 C q	2,660,189	2,565,838	2,677,908	2,571,362	2,573,950	2,560,665	2,559,865	2,550,179	2,529,900
算入公債費等の額 D r	564,590	478,170	459,124	457,425	443,125	430,667	419,834	399,421	363,166
将来負担比率 {(o-p)/(q-r)} × 100	86.3	69.7	53.9	30.8	17.3	21.8	28.4	12.1	3.8